F 1 1 1	【用紙一3】											
							殿		発行日:	2014年0		
	_	信越理研(株)			株)				整理No:	45F-0	3-007	
	協力工場						不良品連絡		各書	4		
/r41												
(株)		再名	発防止のため対象	を記入	の上、指領	定回答	日まで	に原本を		承認	調査	担当
鈴			提出して下さい。									
木		化中间效口 0014年02日						20 🗖		<u>黒岩</u> 14.3.13	14,3,13	14.3.13
	指定回答日: 2014年03月2							20 日		映次	遊夫	健友
記	仕様番号 PCR-EV20LMDGT-05							1.5 36		N.	And i	
入	品	名	コンタクトA(タンシウリスポットメッキ)					蛇行NG				
			•						0052			
	D'	ソトNo	14.02.20.1.Y.0051								2	Jer Mil
)-b- /-b-	50 HD -	2014/02/12 14.57.05				Mari I					
		連絡受理日 2014/03/13 14:57:05 対象数量 2,580						nore			13	
	对图		2,580 	· ·	<u>-</u>				0051	仮却品	の処置(数量	量明記)
			能内容 华氏猜 !!!									
		797	der. in gar							1,137	4 廃棄	
										<i>;</i>	·	
		2. 発生原因					4. 流出原	因				
協		智箱	ith the					多少条件	发现.			
		","	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
カ	是							4	y 10			-
												•
ェ	正											
		3 24	 生防止対策					5. 流出防	上対策		·	
場	処							罗月条代				
		874	在新良县、				e.	87710	///) '{ (EC)			* , •
記	置			1				%				
								·				
入												
			実施日:	年	月	日		· ·	実施日:	年	月 日	
		在庫	品仕掛品の確認							回答日:	14 年3	
		在庫	品		仕掛品		0			承認	調査	作成
			. <i>V</i>					•		西村		林本
		1= *** *	KERLET -							14 3/19	/	14'3/19
		標準	類改訂有	· (無)	, ~, ~, ~,	- 42	· /	Gatim	10 = =	. , , ,	調 査	確認者
(株)	確	対策後、14.04.03.1.も2001~14.04.24.1. はののまけかりトレーかいて、同程をが無い為、有交が性有りと判断するとよす							黒岩	例 且		
株 鈴 木	, दा	同石	同視台が無い風用ダガモノ用ノンマング							14.7.10	和田	14.7.09

リング部に近く 接触し易い状態と

なっていた。

製品

株式会社鈴木 品質保証二課 山田様

信越理研株式会社 品質保証部 松本

PCR-EV20LMDGT-05A コンタクトA キャンバー不具合 調査結果 の件

拝啓、貴社益々ご清栄の段お慶び申し上げます。 日頃は格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、早速ではございますが主題の件につきましてご報告致しますので 宜しくお願い申し上げます。 敬具

- 記 -

協力工場 不良品連絡書 No.45F-03-007

PCR-EV20LMDGT-05A+ コンタかA 不具合現象:+キャンバー7mm/m

確認内容

ロットNo.14.02.20.1.Y.0051(SR14.02.27.C2-09)

作業履歴を確認致しました所、該当ロット加工時、減品や不具合発生等変化点はありませんでした。

該当不具合リール内を確認致しましたところ、 リールエント、25mに発生致しており、以降の発生はありませんでした。 リールスタート部約2mm/mのキャンハーでありました。

発生部+2mをカットし、-680pcsと致しました。

キャンバー発生部には、スリット部の変形(歪み)が見られました。(ご指摘内容)

めっき工程 Auめっき槽周辺部

Auめっき上から見た略図

 ローラー
 製品

 リング部

 ローラーを横から見た略図

 エ常
 上側リングが低めの状態

製品

発生原因

めっき工程内を確認致しました所、Auめっき治具の入り口に設置されているローラーにてリングの高さが他のローラーよりも若干低めの設定となっておりました。(製品は通過できる状態)

該当ロット加工時、ローラーの上側リングの位置が若干低めの設定であった為、加工時上側となる製品スリット部と干渉し、歪みが発生し、その影響により、 キャンバーを誘発させたものと考えます。

ローラーのリング位置は、実際の製品を使用して設定しており、位置にばらつきが生じたものと思われます。(下側のリングは固定となっております)

その他めっき工程確認にて、スリット部と干渉する恐れのある箇所はローラー部以外にはありませんでした。

発生対策

次回加工時にて、再現実験により検証を行います。 ローラー部リングの高さ設定方法について、端面干渉及び設定にバラつき無き様 管理を実施致します。

流出原因

キープサンプルにスリット部歪みの発生がありましたが、検出する事ができず、 流出させてしまいました。 (次リールNo.52のスタートサンプルに歪みの発生がありました)

流出対策(14.03.17)

該当不具合サンプルにて、キャンバー発生時に発生するスリット部歪みについての不良見本を作成し、外観確認時に比較確認を行い、流出を防止致します。

以上、取り急ぎご報告致します。

大変恐縮ではございますが、宜しくお願い申し上げます。